

【2位】ネット上の誹謗・中傷・デマ

～昨日の友は今日の敵？熱くなりすぎず冷静な対応を！～



- SNS等で**他人を誹謗・中傷**したり、**脅迫・犯罪予告**を書き込み、事件になる
- 誹謗・中傷やデマの発信は**犯罪**になり、安易に拡散した人も、その行為を特定され、**社会的責任を問われる場合がある**

【2位】ネット上の誹謗・中傷・デマ

～昨日の友は今日の敵？熱くなりすぎず冷静な対応を！～

● 要因

・匿名性の悪用、第三者による不用意な拡散

■ 匿名性を利用した影響ある情報発信

- ・自身の意見や感情を発言する際に、その内容の**影響を考慮せずに発信**してしまう
- ・匿名の発信であることでその内容が過激になりやすい
(警察が調査すれば身元を**特定できる場合が多い**)

■ 第三者による情報の拡散・改変

- ・誹謗中傷やデマを見た第三者が、悪意の有り無し関係なく、**真偽を確認せずに拡散**する
- ・さらに別の第三者の真偽不明な情報と紐づけて拡散することで、その第三者にも誹謗中傷が広がる

【2位】ネット上の誹謗・中傷・デマ

～昨日の友は今日の敵？熱くなりすぎず冷静な対応を！～

● 2022年の事例／傾向①

■ 「教材に反ワクチンのチラシ封入」のデマ拡散 (※1,2)

- ・2022年3月、「ベネッセの小学1年生用教材に反ワクチンを呼び掛けるチラシが入っていた」というデマの投稿がTwitter上で拡散された
- ・投稿はチラシの画像付きであったが「デマなのでは？」と疑う者もいた
- ・しかしTwitter上で話題になったため、ベネッセに問合せが寄せられ、本来不要であった対応をする事態となった

【出典】

※1 ベネッセに風評被害「教材に反ワクチンのチラシを封入」デマ対応に追われる(ITmedia NEWS)

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2203/23/news085.html>

※2 反ワクチンチラシ「チャレンジに入ってた」デマ投稿が話題に、偽計業務妨害罪の可能性も(弁護士ドットコムニュース)

<https://www.bengo4.com/c.23/n.14277/>

【2位】ネット上の誹謗・中傷・デマ

～昨日の友は今日の敵？熱くなりすぎず冷静な対応を！～

● 2022の事例／傾向②

■ デマの投稿者に名誉棄損等での有罪判決 (※1,2)

- ・コンビニ店長の写真を添付し、「私コロナ感染者と近寄って来た」「この店には絶対行かないで」とSNSにデマを投稿した女に有罪判決(懲役8月、執行猶予3年)
- ・Twitter等に「煽り運転事件で起訴された被告と関わりがある」と同姓の他人に関するデマを投稿し、有罪判決
- ・被害者が経営する会社が休業する事態になり、社会的評価を低下させたことを裁判所が認めた(231万円の損害賠償)

【出典】

※1 SNSデマ投稿の女に有罪判決 「コンビニ店長がコロナ感染」名誉棄損(京都新聞)

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/901904>

※2 デマ投稿5人の賠償増額 東名あおり事故 福岡高裁(産経新聞)

<https://www.sankei.com/article/20221027-ODQDEYMWLVMNNOCAOTI72GJJJEQ/>

【2位】ネット上の誹謗・中傷・デマ

～昨日の友は今日の敵？熱くなりすぎず冷静な対応を！～

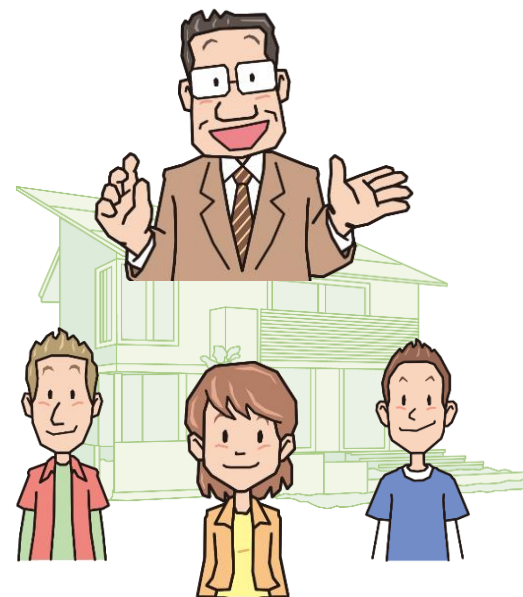
● 対策

■ 発信者

- ・情報モラルや情報リテラシーの向上、法令遵守の意識の向上
 - －誹謗・中傷や公序良俗に反する投稿をしない
 - －投稿前に内容を再確認
 - －匿名性がある場合でも発言には責任を持つ

■ 家庭、教育機関

- ・情報モラル、情報リテラシーの教育
 - －子供たちへの教育の実施



【2位】ネット上の誹謗・中傷・デマ

～昨日の友は今日の敵？熱くなりすぎず冷静な対応を！～

● 対策

■ 閲覧者

- ・情報モラルや情報リテラシーおよび法令遵守の意識の向上
 - －情報の信頼性の確認

■ 被害者

- ・被害を受けた後の適切な対応
 - －冷静な対応と支援者への相談
 - －一人で抱え込まず、信頼できる周囲の人や公的相談機関へ相談する
 - －犯罪と思われる誹謗・中傷の投稿は、警察へ被害届を提出し、必要に応じて弁護士にも相談する
 - －管理者やプロバイダーへ情報削除依頼

※情報削除により事態が悪化するおそれもあるため、周囲の人や弁護士等に相談して慎重に行う

